

平野小中地域学校協働活動



いこころの里通信



平野中学校 HP : <http://hirano-j.esnet.ed.jp/> ・ 平野小学校 HP : <http://hirano-e.esnet.ed.jp/>

年が明けたと思ったら、もう2月も終わりですね。あと1か月もすれば、今年度も終わります。1年はあっという間です（汗）。

さて、先日「学校運営協議会」があり、幼・小・中の取組と学校評価についての報告と意見交換がありました。また、前回の熟議で子供たちから出た、「祭りがなくなって寂しい。」とい

う意見を受けて、子供から地域にやってもらいたいこと・やめてもらいたいことの見聞を募りたいと地域から提案がありました。大人が子供の意見を聞き、より良くしていこうとしていることにうれしくなりました。

これこそコミュニティ・スクールです。



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動とは

コミュニティ・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のことです。学校運営協議会とは、法律に基づき教育委員会により任命された委員が、一定の権限を持って学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関のことです。

なぜ必要？

時代の変化に伴い、学校と地域の在り方が変化している

- 教育環境を取り巻く状況（児童生徒数の減少、子供の規範意識等への課題、学校が抱える課題の複雑化・困難化）
- 社会の動向（少子高齢化、グローバル化や情報化の進展、地域とのつながり希薄化、地域教育力の低下）
- 教育改革の動き（「社会に開かれた教育課程」の実現など）
- 地方創生の動き（学校を核とした地域の活性化）

求められるものとは…

- ◆ これからの時代を生き抜く力の育成（学校だけでは得られない知識・経験・能力）
- ◆ 地域住民が自ら地域を創っていくという「主体的な意識」への転換

「コミュニティ・スクール」

学校と地域が力を合わせて学校運営に取り組む

方向性

学校と地域の連携・協働が必要

「目標」と「ビジョン」を共有し、**自転車の前輪（方向性）と後輪（推進力）**のように、一体的な実施を推進していく。

「地域学校協働活動」

学校と地域が相互にパートナーとして行う活動（ふるさと学習等）

推進力

（文部科学省 HP 参照）

2月3日(金)

少年の日記念行事 (中2)

中学2年生の少年の日記念集会が開催されました。式典では、決意発表や親子手紙交換があり、その後、学年活動で砥部焼の絵付け体験をしました。



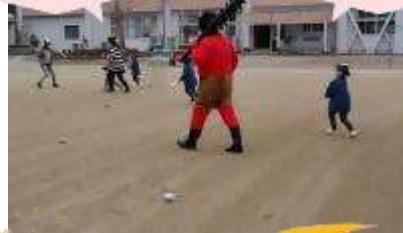
2月3日(金)

節分行事 (幼稚園)

ある日のひとコマ



キャーッ!!



幼稚園児がグラウンドで豆まきをしていた時、突然、鬼が登場!! 必死に豆をぶつけていました (笑)

2月6日(月)

ウェルカムデー (幼・小・中)



緊張の開会式



幼稚園児から中学生までと一緒に遊ぶ!これが平野の醍醐味です!



お〜っと、はさまれた〜!!

みんなが楽しみにしているウェルカムデー♪

お昼休みに幼・小・中の子供たちが一緒に遊ぶ時間です。前は中学校主催のかくれんぼ大会。今回は小学校主催の鬼ごっこです。広いグラウンドを必死に逃げる中学生と幼稚園児。それを追いかける小学生。圧倒的な人数差で、小学生が勝利したようです。

第34回 伊藤園お〜いお茶新俳句大賞
総勢70名、日本語俳句 261句、英語俳句 15句を投句しました!



【編集後記】

まだ寒い日もありますが、よく見ると梅の花が咲いていたり、桜のつぼみが少し色づいていて、春の訪れを感じるようになりました。

令和4年度も残り少なくなりましたが、「ふるさと学習」はまだ予定されています。次号も楽しみにしてください。(福本)

